

終末期がん患者における末梢挿入型中心静脈カテーテル（PICC）の有用性についての検討

1. 研究の対象

2019年10月1日～2025年9月30日の間に、岩手医科大学附属病院 緩和ケア病棟に入院し、診療の一環として PICC（末梢挿入型中心静脈カテーテル）の留置を受けた患者さん。

2. 研究期間 研究実施許可日 ～ 2026年3月31日

3. 研究目的・方法

終末期がん患者さんでは、経口摂取困難や持続的薬剤投与のために静脈路確保が必要となることがあります。しかし、低栄養や浮腫により通常の末梢静脈路が確保できないことが少なくありません。

当科では、安定した末梢静脈路として PICC を導入しており、本研究では、過去の診療録をもとに PICC の留置理由・使用期間・合併症の有無などを調査し、安全性や有用性を後方視的に評価します。

この研究は診療情報のみを用いた観察研究であり、新たな検査・処置は一切行いません。

4. 研究に用いる試料・情報

- **情報：**診療録に記載された年齢、性別、がんの種類、PICC 挿入部位、留置期間、薬剤投与目的、合併症の有無 など
- **個人情報：**氏名、カルテ番号、生年月日などは削除し、個人を特定できないように研究 ID を付して加工したうえで管理します。

取得した情報は、研究終了日から5年／結果公表日から3年（いずれか遅い日）まで保管し、その後は適切に廃棄します。将来別の研究に二次利用する可能性および他の研究機関に提供する可能性があります。

5. 研究費および利益相反

本研究は岩手医科大学 緩和医療学科の講座研究費により実施されます。研究に関わる者と企業等との間に経済的な利益関係はなく、研究成果に不正な影響が生じることはありません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者／研究事務局：岩手医科大学 緩和医療学科 助教 中村 聖華

〒 028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通二丁目1番1号

TEL：019-613-7111（内線：2014）

FAX：019-907-8468

E-mail：nseika@iwate-med.ac.jp